

Alert 19号

[通巻 401号]
2018年
1月 10日発行

第X期・反天皇制運動連絡会

今日のAlert

- 近代天皇制の歴史の内実を批判し「紀元節」を撃つ闘いを組み立てよう――*2
- 反天ジャーナル――さようばくのりこ、闘病熊、宗像充*3
- 状況批評・新春大放談！あにまる談議「どうなる!? 次期天皇制」――*4
- ネットワーク・一人でも多く、辺野古に行こう！――中村利也*7
- 書評・『働く、働かない、働けば』（2018 BROKEN JAPAN）を思い知るためにたけもりまき*8
- 太田昌国のみたび夢は夜ひらく（92）
- 願わくば子供は愚鈍に生まれかし。されば宰相の誉を得ん――太田昌国*9
- 「皇位の安定継承」が前提!――〈壊滅天皇仁〉その17――天野恵一*10
- マスコミじかけの天皇制（19）



250円

●定期購読をお願いします（送料共年間4000円）

●郵便振替 00140-4-131988 落合ボックス

東京都千代田区神田淡路町1-21-7 静和ビル2A 淡路町事務所気付 落合ボックス
TEL/FAX 03-3254-5460 URL <http://hanten-2.blogspot.jp/> mail: hanten@ten-no.net

一二月二三日の集会で千本秀樹氏が一言述べて、水平社創立大会宣言を思い出させてくれた。氏がある大学で学生にこの宣言を聞かせ、「エタであることを誇る」という文言について問うたところ、一学生が「それはエタであることを大事にすることですね」と応じたそうだ。自分で自分を否定することの拒否を見るという意味だろうが、氏はこの学生の言いたいことはわかるとした上で、宣言が、人間をいたわるがごとき運動が運動を堕落させる、と言っていることに注意を喚起した。

千本氏の指摘はたまたまその前の精神障害者運動をやっているという人の発言を受けた形になった。この人は、附加価値を生まないとされる者が無価値とされ、自分たちが社会常識に一体化せよと一方的に要求される状況を言い、こういうことが天皇制とどういう関係にあるかを問うた。私はこう思った。そういう状況に対して明仁天皇は必ず、あなた方のことはわかる、それに心を痛める、と言うだろう。そしてそれに反感を覚える人は少ないだろう。しかし天皇の言は精神障害者の状況への社会認識を「気の毒だ」という感情で統一されることになるだろう。それは正しい方向か？ この発言者は、精神障害者が自分たちへの差別に自分たちで立ち向かう運動についても述べた。それを通じて社会を変えるということだろう。そこで私は思い出した。水平社宣言が自分たちを誇るというのは、被差別部落民があわれまれることに甘んじず、差別と自力で戦った歴史を誇り、それを受けつぐ自分たちを誇ったのであり、その行動によってわれわれは人の世に熱と光をもたらすだろう、と声高く叫んだのであったことを。（信天翁）

今月の

Alert

近代天皇制の歴史の内実を批判し 「紀元節」を撃つ闘いを組み立てよう



二〇一五年一二月の日韓政府による「慰安婦問題」「合意」が、とうてい歴史問題の「不可逆・最終的」な決着ではありえないといふことは、その時点から多くの批判とともに語られてきた。そしてそれにもかかわらず、安倍政権の意をくむ右派勢力は、この「合意」をまさに「錦の御旗」と掲げながら差別排外主義の轟音をかき立ててきた。しかし、それから二年を経てこの検証結果が韓国側から発表され、非公開とされてきた秘密合意が存在しており、それが当事者の尊厳を踏みにじるもので、とうてい歴史問題の「決着」とは言い得ないものであるということが明るみに引き出された。

これにより、大日本帝国から戦後の日本国家を通じて、植民地責任、侵略戦争責任が、いまなお未決のままであることがあらためて直視させられたのだ。嘘につつまれた「合意」をいくら形式的に保持しようとしても、この歴史問題は、国家の心臓に深く刺さったものであり、この問題をめぐる言説や国家間の交渉の実態は、双方の国家とりわけ日本国家の腐敗状況をそのまま示すものとしてあるのだ。天皇がどれほど「慰靈」を重ね、「おことば」をどれほど繰り出しても、それが空疎なものでしかないということが、このような事実が示されるたびに露呈されていく。

この二〇一八年を、政府は「明治一五〇年」

として祝うのだという。頻発する政治テロと内戦を経て、天皇の神権を核とする天皇制明治政府が成立した。欧米の帝国主義を制度としてまといながら、近隣の民族への侵略を重ねることで国内の近代化をすすめ、東アジアから世界へと軍事力で影響力を高めていった。侵略戦争の深化とともに天皇の大権が神格化されて臣民の精神を統合する存在となつていいき、天皇の勅語や図像が国家における最重要なものとして強要された。内戦の死者を祀ることにはじまつた靖国神社は、侵略戦争の死者を祀るまさに「戦争神社」となることで完成した。「明治一五〇年」を祝うということは、これらの事実を現在の国際環境や社会状況の中で、「正」のものとして位置づけることであり、歴史修正主義にさらなる上塗りを重ねることである。

この事態のなかで、憲法改悪の具体化が安倍政権から堂々と打ち出されてきている。さらにも悪いのは、これが、北朝鮮の核とミサイル開発や、米国トランプ政権の明らかな搖ぎとともに進んでいることだ。日本国家はミサイル配備や空母保持など野放図な軍拡競争にすでに足を踏み入れており、経済構造もまた全体的な衰退とともに極端に官需に傾いて脆弱の度を強め、危機的な状況が拡大していく。広告宣伝がフェイクニュースとつながり、情報による支配が自己目的化しているという

として祝うのだという。頻発する政治テロと内戦を経て、天皇の神権を核とする天皇制明治政府が成立した。欧米の帝国主義を制度としてまといながら、近隣の民族への侵略を重ねることで国内の近代化をすすめ、東アジアから世界へと軍事力で影響力を高めていった。侵略戦争の深化とともに天皇の大権が神格化されて臣民の精神を統合する存在となつていいき、天皇の勅語や図像が国家における最重要なものとして強要された。内戦の死者を祀ることにはじまつた靖国神社は、侵略戦争の死者を祀るまさに「戦争神社」となることで完成した。「明治一五〇年」を祝うということは、これらの事実を現在の国際環境や社会状況の中で、「正」のものとして位置づけることであり、歴史修正主義にさらなる上塗りを重ねることである。

しかし、私たちには嘆いているつもりはない。天皇制の問題を自分たちの切り口として選択しながら、これまでいろいろな人びととのつながりを組み立ててきたのだ。私たちは今年もまた、二月一一日に、反天皇制の闘いを準備している。今回は、「代替わり」と近代天皇制一五〇年を問う! 反『紀元節』二・二一行動」として、歴史問題を正面から聞いただしていく闘いに取り組んでいく。この日には各地でもさまざまな取り組みがなされるだろう。ともに進んでいく。

(蝙蝠)

悲惨なありようもまた現実だ。

昨年の「退位特例法」の制定後、天皇代替わりに向けたスケジュールが、日に日に具体的

化していっている。来年早々には「平成在位三〇年」が、そして来春四月末～五月には明仁退位と徳仁の即位、さらに来秋の大嘗祭と

今年こそ五輪返上!

もし自分が天皇だったら……

リニア被災地

二〇一〇年まで、天皇代替わり、東京五輪、改憲……と考えるだけで凄まじい三年間がスタートした。うわっ。年末は横浜・寿越冬学習会で「反五輪の会」いちむらさんに明治公園や宮下公園の五輪排除について話を聞いた。神奈川でも横浜スタジアムや江ノ島が五輪会場になり、そこに住む野宿の仲間がいる。二〇一二年サッカーワールドカップでも野宿の仲間が追い出された。排除は他人事ではない。昨年夏のリオでも、「月の平昌」でもたくさん人が住まいを追われた。全く誰のための五輪なのだ!

一方で復興五輪と銘打つ東京五輪だ。福島での野球、ソフトボール実施に海外からも批判の声が上がる。福島県は聖火リレーの浜通り誘致のために今年一〇月、小中学生による模擬聖火リレーをジョビレッジ（柏葉町・広野町）～いわきまで行うと言う。原発事故で住居を追われ、自主避難する三万二千人への住宅支援が三月で打ち切られ帰還の強制が始まっている。矛盾がいたるところに染み出しているね。五輪マスコットの投票を学校で行う等子どもたちに対するオリ・パラ教育？もすごい。

SNS上の五輪批判チエックや異議申し立てを許さない監視・弾圧体制も一層強まりそう。怖い。百害ありの東京五輪、やつぱり返上！
(きよひづくのり)

それは、これまで「日本のあらゆる『忖度』による無責任体制は、天皇制に根本があるから」と考えていて、日本近代史を見つめて「天皇はむしろ必要」と逆転したと語ることから始まっている。なぜ、どうして、が具体的かつ論理的にどうつめられていくのかと期待していたら、合理的にわりきれない「曖昧さ」が平和をつくりだした。このことが「もし自分が天皇だったらどうしたか」という視点を持つようになつたら理解できた、合理をつなぐ「非合理＝曖昧」の原理が積極的意味だというのだ。天皇制のマジックを取り込まれたことの告白。このNHKプロデューサーの遺言はなんとも悲しい。この時流れていたTV番組は公安警察の「國家的公」のインチキに身をよじる暴力公安部事もの。「天皇」なんかではなく、国に疑問だらけの公安警察という「不合理」に身をやつしてみる存在になつてみたい方がよかつたんじゃないの、とだけ思った。(闘病熊)

年末は新書を貰いこんで、TVを流しながら（連続ドラマの一挙放映がまとまつてあった）、TVがつまらない時は本に集中し、おもしろいと読み進まないといったソファにひっくりかえった闘病人のライフスタイルでのんびり。新書だと軽くて読みやすいのだ。その中の一冊が『日本人と象徴天皇』（NHKスペシャル）取材班、新潮新書。象徴天皇（二代）の「平和主義」者としての積極的活躍を、調査し直して整理した本。典型的贊美本。いまさら、読んで考えさせられることはゼロ。ただ、企画責任者の「あとがき」（亡くなる八日前の口述筆記らしい）は、立ち止まらせるものがあった。

この道路は、大鹿村で建設が進む、リニア中央新幹線南アルプストンネルの掘削で生じる三〇万立米（東京ドーム二・四個分）のズリを運び出すための大量の工事車両の通行に対し、住民生活への影響を緩和する目的でなされた道路拡幅の一環、のはずだった。JR東海は事故の因果関係を認めて二一日の村のリニア連絡協議会で謝罪したが、翌二二日には、南アルプストンネル掘削現場一力所の発破作業を開始した。

「影響はないよ、でも予どもには危ないから来るのはよしとけって言った」というお年寄りの話を聞くにつけ、失われたのは山深いこの村で暮らす上での安心感なのだと思った。仮復旧がなされたところで、リニア工事が続く限り取り戻せないものだ。

（宗像充・大鹿の十年先を変える会）

状況 批評

思想・状況・批評

新春大放談！ あにまる談義 「どうなる？ 次期天皇制」

梶 久しぶりの大放談なんだけど、どこから始めようか。スペースはたくさんあるよ。

熊 これから話ということでは、天皇みたいな上皇と新天皇と、天皇が二人いるようなもので、シンボルが二重化するわけだよね。明仁派と徳仁派みたいな二重化も起ころうし、宮内庁内部だって面倒な話になるぞ。

鷺 それはかなり意識しているよね。たとえば、天皇誕生日をそのまま何かの祝日にするという話もあったけど、結局、権威の二重化を避けるために当分は平日に戻すと言っている。

熊 右翼が正しくも生前退位に反対していたのは、この問題だよな。

鷺 皇室祭祀の問題は？ 天皇は上皇になつたら一切やらないのかしら。

熊 近代天皇制のなかで前例がないことだし、どういう風に前例をつくるかは向こうが考えることで、やらないと決めつけることはできないよ。

雀 宮僚という組織は自「運動するものだから、上皇職としてあれだけ数を揃えたら、仕事がないのは困るし、何かやらせるようになるんじやないか。鷺 本人だって何もしないわけにはいかないだろうしなあ（笑）。

熊 むしろチャリティ部門をやり続けるとかという話はあり得るよな。

鷺 皇室祭祀は新天皇に任せて、国内旅行とか。韓国からの招請もあるとう話だし。この前も高麗神社に行つたけど、この間は「私的旅行」と称する「お出かけ」が増えてるね。

梶 一応さ、天皇は退位したら「公務」はやらないって言つているよね。いわばそれが「生前退位」の前提なわけで。それで、退位したらそんなことを忘れました、というわけにはいかないんじやないの？

鷺 だから「私的旅行」にすればってことになるんじやないか？

梶 それに雀さんが心配しているお付きの者の仕事も確保できるし（笑）。熊 建前はすべて「私的行為」だろうけど、どうしても公共性をもつてしまふ。

梶 メディアが報道すれば、それで「公的行為」という性格を帯びるよ。そしてメディアは報道する。

鷺 退位後、上皇夫婦が韓国訪問し、元「慰安婦」の人たちに会つて慰撫するというようなことはあり得ないのかしら……。

鷺 鳥 熊 蝶 熊 えー、そりや無理だろ、バウバウガウガウー

雀 それは日本国家の建前と矛盾する行為にもなるし、難しいよ。

熊 そこまでやつたら使い勝手は良いだろけどなあ。

鷺 いまの政治状況で「慰安婦問題」を解決しようなんて考へてやつはどこにもないし、上皇にそこまで独立した政治的立場もないよ。

梶 第一、それはどこからみても「私的行為」とはいえない。

鷺 でも、上皇としての使い道みたいなことは考へてやつはよ。

雀 そりやそうだよ。いるだけ無駄つて話になるし（笑）。だからいま検討中ということなのでしょう。

梶 ただ、内廷費で「私的行為」とか言つても、全部税金なんだから。そこんところももつと問題にしたい。

熊 予算的には実際はどうなるんだ？

梶 今の大天皇・皇后、皇太子一家についていた「内廷費」は、そのまま上皇・上皇后、天皇一家にスライドする感じだよね。そして、皇太子がいなくななるけど、皇嗣となる秋篠宮に皇族費が三倍つくらしい。結局、今の皇太子と同じくらいのお金になりそうだよ。で、侍従職・東宮職だったのが、侍従職・上皇職・皇嗣職と一つ増える。上皇職はこれまでの侍従職より人数は少し減るけど、新たに皇嗣職ができるので、人件費は確実に増える。

5 ●反天皇制運動 Alert

貌 そういえば、新天皇の一連の儀式が終わってしばらくしたら、立皇嗣礼をするとか言つていたなあ。

熊 天皇の国家儀礼漬けが始まるんだな。

貌 二〇一九年一月から、登極令に基づいてやるとすれば全部で三〇くらいの儀式がある。すでに「即位の礼」や、「大嘗祭」で使う衣装とか高御座のための予算だけでも一六億円以上と決まつたし。

鰐 福島の人たちの住宅支援が全部打ち切られたりしているなかで、すごく腹が立つ！

梶 その時決まつた予算三五億円のほとんどは、そのほかには上皇、新天皇の新居や仮住まいの改修に使われるお金や人件費で、それ以外はまだこれからでしょ。いくらかかるのかっていう話だよね。

鰐 やっぱりお金の話を具体的に訴えた方がいいんじゃないの？ 納得する人も出てくるようになるのだけど。

貌 でもさ、天皇が日本国家で果たしている役割とか、国民統合として果たしている機能とかを考えると、戦闘機一機が一〇〇億とかいうのに比べれば、安いんじゃないかという話もあるよ。

鰐 年金問題の話になれば自分たちに直接関わつてくるので、今まで口をつぐんでいた人たちも声を上げたりするんじゃない。

牛 三五億円というとみんなあんまり反応しないけど、たとえば秋篠宮の眞子が毎年三〇〇〇万円くらいのお金を「皇族としての品位保持」として受けとつていると言えば、学生たちはすごく反応するよ。三〇〇〇万円というのは、自分たちに想像できる範囲なんだな（笑）。

雀 そりやそうだ。僕だって何億円なんて言われてもピンとこない（笑）。

鰐

熊 貧困問題はさらにリアルになっていくし、経済問題を語る意味は大きい。

梶 天皇制を残したい九九パーセントの人たちにとつては、宮内庁予算一七〇数億円は高くないという風に考へるのではないか、という話もあつたね。

雀 そういう人はわりあいたくさんいると思うよ。だから、さきほどの牛さんの話が生きてくると思う。

貌 フリーター労組の人たちが皇居前広場で、自分たちの部屋はこれくらいかな、とか言つて地面に絵を描くというビデオをつくつていたけど、あの厖大な敷地との比較は面白かったね。天皇の時給計算とかね。

熊 そういう直接比較は面白いな。

牛 ところで、天皇の私有財産はないんだっけ。戦後、土地や建物はすべて国有化されてるよね。

雀 熊狼蝙梶 いや株が、宝物が、正倉院のお宝が、バウバウガウガウ。牛 でも、現金は宫廷費と内廷費なんだよね。で、「大嘗祭」に宫廷費を使るのはおかしいとかボクらは言うわけだけど、本音は国費を使うのはおかしいと思っている。今回の有識者会議で「公務」は国事行為ではないと文字に残し、一般的にはそれは私的行為となる。でも、本当にプライベートなことであれば、自分たちの財産で出すべきではないのかと。たとえば正倉院の入場料とか（笑）。あるいはカンパを集めるとか（笑）。大嘗祭もそれでまかねえ、とか。天皇制を認めない立場ならば、それくらいは言ってもいいのではないか。

熊 実際にやられたら大変だよ。厖大な金が集まるし。

牛 だから僕は、象徴天皇制と錢金の問題は絶対矛盾すると言いたいわけ。

熊 「公」と「私」の関係も絶対矛盾だ。皇室財産を全部国家に返上し、私有財産は個人的に持つている金以外はない。居住地だつて国有地なのに、そこで神道儀式もやっている。そんなの政教分離原則違反に決まつていてけど誰も問題にしない。結局「公」「私」の境もぐちやぐちや。私有財産の公開義務はないわけで、お金をいくら持つていてかなどわかつてもいいない。

梶 しかし、退位の儀式の時、「三種の神器」を手渡すのかどうか（笑）。それをやると、天皇の意思で譲ることになるので憲法上問題があるので、とか議論があると書いてあつたな（笑）。これもかなりの矛盾だよな。

梶 その儀式での天皇の言葉でも、退位を自分で宣言するような形式だと憲

法上マズイとかも書いてあつたね。

雀 宣命の儀とかいうやつだな。天皇のうちにそれをいたらマズイと。

熊 何を今さら、だよな。バウバウガウガウキーキー

鰐 しかし、雅子が完全に回復しているわけではないという話で、どうするつもりなのかね。

梶 明仁・美智子天皇制といったものはこの三〇年くらいで作り上げたもので、平成以前に立ち戻ればいいという話もあり得るよね。私が天皇だとう感じで徳仁が威張つていればいい、というさ。ただ私は、最終的には雅子は元気になるような気がしている。これまでできなかつたやりたいことができるようになつたりして、メキメキと……。

貌 そうだな、美智子だつて皇后になつたばかりの時は失語症になつたりして、でもサイパンで治つたんじやなかつたか？（笑）

梶 生前退位問題が出てくる少し前だけ、徳仁・秋篠宮の二人三脚天皇制みたいな話も予想したりしていたけど、そのあたりはどうなるのかね。

鰐 そういう話は歴史的にはだいたい殺し合いになるんだけどね（笑）。

熊 女性週刊誌レベルで言えば、最近、紀子人気がすごく落ちているけど。

貌 紀子はそもそもとそんなに人気ないでしょ（笑）。

雀 政治的にかわいげがないからね（笑）。雅子の方はかわいそうという気持ちにさせるし。

熊 紀子は同情を引かないよな（笑）。

鰐 たしか悠仁をお茶の水に入れる時に、研究職の子どもを優先的に入れるという枠をつくってインチキで入学させたとかで、学習院じゃなくて国立なんだから、といった批判が出たんじやなかつたか？

鰐 そいえば秋篠宮家はみんな学習院じゃないよね。眞子・佳子はICUだ。

牛 学習院を嫌う理由があるのか？

梶 徳仁世代からはみんな海外留学やつてているけど、それをやるには学習院じゃちょっと難しいというのはあるんじゃないの？

熊 愛子の登校拒否問題で、学校側の対応問題もあるんじやないか？

梶 学習院に通う人たちの層の問題も大きいんじゃない？ 皇族が通う学校

という特權階級的意識が子どもたちにも親たちにもあつて、そういう環境で愛子は雅子のことで税金の無駄遣い的ないじめを受けたりしたわけでしょ。そりや、大学のレベルといい、品の悪さといい、学習院なんか行きたくない、と思うんじやないか？

貌 そりやありそうな話だなあ。嫌らしいなあ。

鰐 ほんと品がないよな（笑）。

梶 やっぱり同情を引くようなあ（笑）。

鰐 愛子や佳子眞子が出てきたところで、女性天皇問題とかどうなのさ。一〇代、二〇代の女性はこの三人に絞られるわけで、某竹田の、元皇族の男子を捜してきてこの三人と結婚させようという話も出てきているけど。

梶 いや、いくらなんでもそういう政略結婚的なものを許容できない社会にはなつてているんじやないの？

熊 しかし、女性天皇を認めない安倍たちにはそういう方法しかないわけだ。

貌 天皇家のY遺伝子さえあれば、現天皇と遠い血筋でもいいわけで。

鰐 問題は精子なんでしょう？ 人工授精という話になるんじやないの？（笑）

牛 それでも結婚するという儀式は必要なんだよなあ（笑）。

梶 人工授精の場合、誰の精子なわけ？ 明仁？ 徳仁？

熊牛雀謫鰐鮫 いや、明仁は無理だけど、徳仁なら大丈夫だろうか？

梶 その精子を誰に入れるのさ！

熊牛雀謫鰐鮫 ううむ。そうだよな、愛子？ ううむ。

梶 でしょ。じゃあ、誰か連れてくるわけ？

熊牛雀謫鰐鮫 ううむ。

牛 だから竹田路線なんだよ。政略結婚ではなく美しい恋愛結婚として世間を黙らせる。

熊 どれをとっても恐ろしい話だな。金の話よりもぞつとする。

雀 天皇制は恐ろしいんですよ。

熊牛雀謫鰐鮫 やっぱりやめるしかないよ。バウバウガウガウキーキー

一人でも多く、辺野古に止む。

中村利也（辺野古への基地建設を許さない実行委員会）

沖縄・辺野古では今、アメリカの国防長官をして「世界一危険だ」と言わしめた米軍海兵隊普天間飛行場の「移転」を名目に、実際には巨大な新基地建設が強引に進められている。

ジユゴンが回遊しウミガメが産卵に訪れサンゴが群生する世界的にも貴重な海が、コンクリートブロックで押し潰され、碎石、土砂によって汚染されている。昨年の総選挙を始め、何度も選挙で「新基地はいらない」という沖縄の搖るぎない民意が表明されたにも関わらず、安倍政権は、日米同盟の順守を掲げ、アメリカの軍事戦略に従い、また最低限の民主的手続き、法律すら無視あるいはねじ曲げて工事を進めている。

現在、工区北側のK9護岸が100mまで造成され（防衛局は仮設工事と言っているが）、辺野古浜側のN5、K1護岸工事が着手されている。また、一月一八日には国頭村奥港から碎石が台船に積み込まれ、海上から工事区域に搬入された。一二月二十五日からは、辺野古により近い本部港から海上搬送が始められた。これは、キャンプシュワブ前の反対行動によって陸上からの搬入が思うようにいかないことに焦った防衛局の苦肉の策だ。やりやすい場所から着手し、既成事実を積み重ねようとしているのだ。

この狙いは、「もう後戻りが出来ない」「反対しても無駄だ」と沖縄の人々に諦めさせ、当面は本年二月四日に行われる地元の名護市長選挙で稻嶺市長を

追い落とすことだ。そして、本年一月に行われる沖縄知事選挙で翁長知事を落選させ、基地建設工事を一気に進めようとしている。

そのためには手段を選ばない。キャンプシュワブ前で三年前の七月から行われている座り込み行動に対しては機動隊が不当な拘束、逮捕を繰り返している。海上ではカヌーや船に乗つての抗議行動に対し、海上保安庁保安官による過剰警備が続いている。強引に船に乗り込みあるいはカヌーを引き回して転覆させたりと「海の安全」「海難救助」という本来の任務と全く逆の違法行為がまかり通つてているのだ。

私たち辺野古実は、二〇〇四年四月、沖縄・一坪反戦地主会関東ブロックの呼びかけにより、首都圏の諸団体で結成された。当時辺野古では、普天間基地に変わる「海上ヘリポート」基地建設のためのボーリング調査が行われようとしていた。建設に反対する沖縄の人々は、海上に設置された単管ヤグラに乗り込み、鎖で体をくくりつけるなど決死の阻止行動を展開していた。こうした現地の果敢な闘いに「本土」の私たちも何かをしなければいけないという声が上がった。

海上ヘリポート案は、沖縄の人々の体を張つた闘いによって断念に追い込まれたが、基地建設計画がとり止めになつた訳ではなかつた。私たちは活動の継続を決め、辺野古や高江のヘリパッド建設など、沖縄での基地建設反対の闘いに呼応して「ヤマト」の役割、責任として首都圏で一〇数年間活動してき

た。この間、米軍再編の中で「海上ヘリポート」計画は、辺野古の海を埋め立て、揚陸艦が接岸できる二〇五ha（東京ディズニーリゾートの二倍）の巨大な軍事基地計画に生まれ変わつた。

一方で地元の名護市では「海にも陸にも基地は造らない」を掲げた稻嶺市長、沖縄県では「あらゆる手段を行使して辺野古基地を造らせない」という翁長知事が誕生した。

しかし、安倍政権によつて基地建設が加速され、機動隊の暴力、海上保安庁の過剰警備などに守られたりと「海の安全」「海難救助」という本来の任務と全く逆の違法行為がまかり通つているのだ。

こうした中で、二月に行われる名護市長選挙で稲嶺市長の三選を果たすことが急務になつてゐる。私たちは昨年末以来、沖縄の人々が、当面する名護市長選挙に専念できるよう、一人でも多くの人が辺野古現地に駆け付け支援の活動に参加するべく「辺野古に行こう！キャンペーン」を始めた。一二月二日には集会を開催し、広く呼びかけた。メンバーが交代で現地に出向き、参加者をフォローするとともに、現地への行き方や滞在の方法などの情報提供も行つてゐる。ささやかだが資金的な援助もしようと考えてゐる。

辺野古へはすでに「本土」から多くの仲間が何度も支援を行つてゐるが、まだまだ人員が足らないのが実情だ。私たちの取組みはまだ成果を上げるに至つてない。せひととも多くの皆さんが、沖縄・辺野古の状況を踏まえ、私たちの趣旨に賛同して辺野古の座り込みあるいは海上行動に参加されることを呼びかけたい。

（辺野古への基地建設を許さない実行委員会 連絡先 090-3910-4140、フェイスブック、ツイッターもあり）



巳年キリン『働く、働かない、働けば』・〈2018 BROKEN JAPAN〉を思い知るため」

たけもりまさき（フリーランス・福岡）

二〇一七年大晦日、私の生まれ育った北九州市の八幡で、二七年の営業を続けたスペースワールドというテーマパークが閉園し、惜しむ声が大きく報じられたりもした。風景は様変わりしたが、私の記憶は一九〇一年に操業開始した近代資本主義を象徴する官営八幡製鉄所のまま、その溶鉱炉の火が消え現れたのがスペースワールド、次はイオン系の商業施設となるらしい。そういう日常で繰り広げられる資本制社会の浮き沈みは、ちつぽけな一人の人間、労働者をどこまでも惑わせる。

社会が壊れていることに気付かせる情報は溢れていますが、多くの人はそれを見ようとはしない、壊された当事者自身こそが向き合えない。この本は、そんなちっぽけな一人の労働者の声を通じて、その「惑い」に気づかせ「壊れ」に立ち止まらせる。幻の高度経済成長に浸かってきた私が、「反資本主義」を掲げ、「働くないぞ！」をキャッチフレーズに結成した労働生存組合フリーラーユニオン福音だが、ここに集う面々はこの本の登場人物そのまんまだ。そんな彼らと七八年前、反資本主義では最前線だらうと小倉利丸の『抵抗の主体とその思想』（インパクト出版会）の読書会をしたが、ほぼ皆きよとんとしたまま終了したことだけを覚えている（笑）。その後、ブローケンジャパンは止まる所を知らず、大学を出ても、三〇歳を過ぎても、正社員なんて働き方は夢のまた夢、日雇いに近い派遣労働で日々拘束され、時給八〇〇円前後の低賃金、将来の保証もない不安定な働き方のまま右往左往するものばかり。そんな日本を

外側から見たのがブレイディみかこ『THIS IS JAPAN 英国保育士が見た日本』（太田出版）であり、この本は内側から見たものだ。これを読んでブレイディみかこなら、なんで日本人は「NO FUTURE！」と叫んでパンクしないんだというかもしれないが。

しかし巳年キリンのこの本は、「ここにいていいよ」ってハッキリ言つてもらえないと辛くなってしまう人にはむかないよ」とか、「お金も貰えても一度きりの人生を消費されるかんじには、

辛抱できないことがあるよ」というつぶやくような言葉が、右往左往して働くものたちの胸にじわっと沁みる。「ああ、どこまで賃労働に支配され尽くした会話なんだ」と一蹴することは簡単だ。しかし、これがこの国のまだ良心というものを備えた労働者の本音なんだということに立ち戻るしかないということを、思い知らされる。賃労働は、労使の契約事項であつて一日八時間以下で、労働に見合つた賃金さえもらえば、事足りるはずだという当たり前のことが実行されないまま、資本主義は破綻しつつある。そのことに気付き、立ち返るための労働組合であり、労働運動だと呼びたいけど、何かがもう手遅れになつてることに気が付かせる本だ。

労働者が、企業の歯車なんて前近代のことだろうと思つてゐる人たちへ、これが二〇一八年日本の労働者の大半の現実であることを知らない人たちへ、そして、日本は民主主義社会だよ、個人は尊重されるんだよ、さらには、日本人は偉いんだ

* 註 ここで「働く」とは「賃労働」を指す」とは言うまでも無い。

（三一書房、二〇一七年、一三〇〇円+税）

よと教えられたものたちへである。ここに描かれた世界がごく稀な一部の「働く人」を描いているとしか思えない日本人がそこにいる限り、この国は、この社会は壊れ続ける。だから、この本をベストセラー化すべく広め、さらには無償でも、国定教科書にでもして、これからを生き延びねばならないものたちに、「強制的」に読ませるべきである。近代市民社会の行く末が、タイトルのとおり「働く、働かない、働けば」と「働くこと」に支配され、増殖し続けているからだ。

最後にこの本は、私が求めるべくは、金が無くて豊かに生きる術であり、経済的貧困であつても人間が壊れない社会であるとを、教えてくれる。そのために「生活保護だつて受給できるんだよ、ぎりぎりこの国はねつ」と、福祉国家であることも忘れない。労働組合運動の活動家としては、「労働者よ、企業と立ち向かい、闘え」と言いたいところだけれど、二時間程度の時給賃金と一日の休憩時間さえあれば読めるマンガ仕立てのこの本を手にとつて欲しい。その程度のゆとりも豊かさもないのは社会が悪いのであって「あなた」の責任ではない、がしかし、それを手に取るのは「あなた」自身でしかないのでだから。

太田昌國の夢は夜ひらく 92

みたび

願わくば子供は愚鈍に生まれかし。さすれば宰相の誉を得ん

今年は明治維新（一八六八年）から一五〇年に当たる年なので、政府や地方自治体がそれを記念する行事を企画し始めているようだ。年頭の新聞各紙でも、その種の記事が目立つた。ただし、この言い出しつ屁が現首相であると私が知ったのは、年頭一月六日付け毎日新聞掲載の編集委員・伊藤智永のコラム「時の在りか」によつてである。

戦後七〇年に当たる二〇一五年に山口県に里帰りした

首相は、明治五〇周年（一九一八年）は長州軍閥を代表する寺内正毅、同一〇〇周年（一九六八年）は叔父の佐藤栄作が首相だったと紹介したうえで、「私は県出身八人目の首相。頑張って平成三〇年までいけば、明治維新一五〇年も山口県の安倍晋三が首相ということになる」と語ったという。地元有権者の心をくすぐるリップサービスだつたのだろうこの発言から、長期政権への野心を忖度した現官房長官が国の記念行事に位置づけた、と伊藤記者は言う。

現首相は、元来、まつとうな歴史意識や歴史認識の持ち主であることを期待しようもない人物ではあるが（首相の在り方として、ほんとうに、これは哀しく、情けなく、恥ずべき事実として私は言つている）、彼が肯定的に例示した寺内正毅は、「元帥陸軍大将」位をはじめとしていくつもの勲章を胸中に付けた肖像写真で有名な人物である。「勳章をぶら下げた人間を見たら、『軍人の誇りとするものは、小児の玩具に似ている。なぜ軍人は酒にも

酔わずに、勲章を下げる歩かれるのである」と『侏儒の言葉』に記した芥川龍之介の言葉を思い起こすくらいの心を持ち続けていたい。それは、「革命軍」や「人民軍」や「解放軍」の兵士や司令であつても、変わることはない。躊躇いもなく人びとを殺す残酷な行為の果てに、胸を勲章で埋めるのが「軍人」とりわけ「將軍」だからだ。ともかく、寺内正毅という軍人政治家の在り方を近代日本歴史の中に位置づけておくことは、現首相の立場とは正反対の意味で、私たちにとつても必要なことに違いない。

日本の歴史の中に位置づけておくことは、現首相の立場とは正反対の意味で、私たちにとつても必要なことに違いない。

「小早川 加藤 小西が世にあらば 今宵の月をいかに見るらむ」

固有名詞の三人はいずれも、一六世紀末、秀吉の朝鮮出兵に参画し「武勲」を挙げた武将たちである。「歴史の評価は歴史家に委ねる」と公言する現首相が、心底に秘めている歴史観に共通する心情が謳われていることは自明のことと言えよう。

かくして、今年一年を通じて、明治維新一五〇周年の解釈をめぐる歴史論争が展開されよう。ここ数年来、産経新聞はこの種の論争に敢えて「歴史戦」と名づけたキャンペーンを繰り広げている。「諸君!」「正論」などの右翼誌には一九八〇年代後半以降とみに劣化した言論が載るようになつたが、三〇年近くを経てみれば、その水準の言論が社会全体を覆い尽くすようになった。偽り、ごまかし、居直りに満ちたこの種の言論の浸透力を侮つた

ましく、偏執的なまでに此事に拘泥して部下を叱責した人物として描いている。その寺内が、一九一〇年の「韓国併合」と共に陸相兼任のまま初代朝鮮総督となり、一般歴史書でも「武断政治」と称されるような苛烈な朝鮮統治の方法を編み出し、あまつさえ一九一六年には首相にまで「上りつめた」のである。

中国北宋代の政治家、詩人にして書家・蘇東坡の、有名な一句を思い出す。



ましく、偏執的なまでに此事に拘泥して部下を叱責した人物として描いている。その寺内が、一九一〇年の「韓国併合」と共に陸相兼任のまま初代朝鮮総督となり、一般歴史書でも「武断政治」と称されるような苛烈な朝鮮統治の方法を編み出し、あまつさえ一九一六年には首相にまで「上りつめた」のである。

中国北宋代の政治家、詩人にして書家・蘇東坡の、有名な一句を思い出す。

「皇位の安定継承」が前提?
——〈壊憲天皇明仁〉その17



必要など、まったく感じない。新聞の方でも、こう論じている。

「このたび、再来年四月末日に期日が決定した私の譲位については、これまで多くの人々がおのの立場で考え、努力してきてくれたことを、心から感謝しています。残された日々、象徴としての務めを果しながら、次の時代への継承に向けた準備を、関係する人々と共にやっていきたいと思います」。

一二月二三日、誕生日記者会見で公表された天皇の「お言葉」なるものの、結びのくだりである。

皇位の安定的「継承」自体に反対の声を発し続けている私たち、今年のこの日も、「天皇制の戦争・戦後責任を考える討論集会」を持った。今年のテーマは「『生前退位』!?! なにやつテンノー!?!」である（私は問題提起者の一人）。

この間「安倍改憲」に反対する運動の中をすら支配する天皇制批判の沈黙（それどころか〈平和アキヒト—ミチコ〉天皇制の賛美の声の公然たる露出）という状況に、私たち反天皇制運動はどういう言葉を発して、私たち自身の「反安倍改憲運動」をつくりだしていくか、それを討論する。そういう問題意識でこの集まりは準備された。ここでは、この集会資料には収めたが、集会の中では素材として触れられることのなかつた一つの題である」。

主張について問題にしていくか、それを討論する。それは『朝日新聞』に連載されている「平成と天皇」のシリーズであり、その限りでは、私がとやかく批判する

ズ「政治との距離を開く」の回、一二月一六日の「下」である「公的行為 国会の議論で統制を」の見出しのついた憲法学者渡辺治の主張である。渡辺の「生前退位」問題をめぐるスタンスは、すでに「平成の天皇制とは何か」（吉田裕ほか編・岩波書店・二〇一七）に収められた「近年の天皇制論議の歪みと皇室典範の再検討」に表明されている。

「憲法施行後すんだ天皇と憲法の民主主義、人権原則との矛盾の拡大を逆転し、改めて憲法の象徴天皇制とそれに対応した皇室制度へ向けての改革を進めねばならない。象徴天皇制の方では肥大化した『公的行為』、皇族の『公務』の見直し削減が第一歩となる。明仁天皇が『全身全霊』をもつて取り組んだ、被災地訪問も慰靈の旅も『公的行為』としてはやめるべきだ。日本が侵略した国と地域に首相や閣僚が国会の議をふまえて訪問し、侵略による加害を謝罪すべきである。継承」がなぜ、どうして必要なのかという、あつて当然の論議をすべてタブーにした、举国一致の明仁天皇は加害への正面からの謝罪はしていなし、それを行う国民の責務を代行できる資格もない。それは明仁天皇個人の思いでやることではなく、国民自身が責任を持つてなさねばならぬ課題である」ということは、共通認識だったのです。

渡辺は、本気でこの「特例法」の国会論議をこんなふうに評価しているのか。あの天皇特例法翼賛国会を。この国会での政治討論を封じ込み（退位問題を政争の具にしてはならない」というタメエで）法案をとりまとめた衆議院議長大島理森は、決まっている結論に向かって、衆参正副議長の四名の会談から始まつたプロセスを、それなりに正直に「退位特例法」とりまとめは大変だつた」（『文藝春秋』二〇一七年八月号）で書いている。議長の根回しがすべて、国会での「皇位継承」がなぜ、どうして必要なのかという、あつて当然の論議をすべてタブーにした、举国一致の明仁天皇は加害への正面からの謝罪はしていなし、それを行う国民の責務を代行できる資格も認められない。それは明仁天皇個人の思いでやることではない。『皇位の安定的継承』は真剣に考えていくべき課題であるということは、共通認識だったのです。

戦後の憲法学者として、きわめて筋の通った主張であり、その限りでは、私がとやかく批判する

こんな「認識」の土俵にくくられ、渡辺は本当によいのか。

卷之六

12月2日～12月29日

表。大会」の日程が10月28日に決まつたと發

〔12月2日〕

明仁、美智子、眞子◆明仁、美智子が、
東京都千代田区のJ.Pタワー学術文化総合ミユージアム「インター・メディア・テク」を訪れ、眞子の案内で植物画の特別展を鑑賞。

〔12月5日〕

天皇、皇族◆明仁、美智子が東京都文京区の豊島岡墓地を訪れ、昭和天皇の末弟に当たる三笠宮の墓所を参拝。代替わり◆菅義偉・官房長官が閣議で、明仁の退位日を2019年4月30日と決

共謀罪◆立憲民主、共産、自由、社民の
に入った。祝日になれば、祝日法の規定
により、その前後の4月30日、5月2日
も休日となり4月27日からの10連休とな
る。

皇室会議◆宮内庁が、明仁の退位日を2019年4月30日がふさわしいとの意見をまとめた皇室会議の議事概要を、8日前午前9時半に同庁ホームページで公表する、と明らかに。

◆共同通信社が2、3両日に実施した全国電話世論調査によると、明仁が2019年4月に退位して「上皇」になつた後も、「公務」に関与すべきか尋ねると、「限定的なら関与してもよい」が54・4%で、「一切関与しない方がよい」の39・8%を上回つたと報道。

徳仁、雅子◆東京都千代田区の東海大校友会館を訪れ、障害者支援の功労者などの表彰式に出席。徳仁が、2020年に開催する東京五輪・パラリンピックに触れ「今後の『共生社会』の実現に向けた取り組みへの関心が高まることを期待いたします」とあいさつ。

などに関する出来事を戦後に回想した「昭和天皇獨白録」について、側近が記録した原本とされる文書がニューヨークで競売に掛けられ、手数料と合わせ27万5千ドル（約3090万円）で落札される。主催した競売会社ボナムスによると、落札者は美容外科「高須クリニック」の高

明仁退位◆2019年4月30日に決まつた明仁退位の際の儀式について、政府が名称を「退位の礼」とする方向で調整していることが、政府関係者への取材で分かること。皇居・宮殿「松の間」で退位日の4月30日を軸に調整していると報道。

秋篠宮、紀子、悠仁◆和歌山県を訪れ、白浜町の南方熊楠記念館を見学。靖国参拝◆超党派の議員連盟「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久・元参院副議長)が、東京・九段北の靖国神社を集団で参拝。

象徴天皇制◆首相在任中、明仁の「即位の礼」に立ち会った海部俊樹・元首相が東京都内で共同通信のインタビューに応じ、2019年4月30日に退位する明仁天皇について「戦後の民主主義の下、自身が先頭に立ち、象徴天皇制を機能させてきた」。慰靈を行い、全国を歩くといった

【12月8日】 須克弥院長
天皇 皇族◆宮内庁が、新年一般参賀を
翌年1月2日に皇居で実施すると発表。
明仁、美智子が午前と午後の計5回、宮
殿の長和殿ベランダに出て、徳仁、雅子
や秋篠宮、紀子ら成年皇族が並ぶ。

した全国電話世論調査によると、皇族減少対策として、女性皇族が結婚後も皇室にとどまる女性宮家の創設について「すべきだ」との賛成意見が61・3%に上り、「必要はない」の26・0%を上回った。

明仁、美智子◆皇居・御所で、訪日したマダガスカルのラジヤオナリマンピアニアナ大統領夫妻と会見。国立新美術館（東京都港区）で開催中の日本美術展覧会（日展）を鑑賞。／東京都港区の国立新美術

積み重ねがあり、国民は象徴天皇を尊重するに受け入れた」。徳仁が新天皇に即位する際の儀式は、時代に即した様式にすべきだと強調。1990年の即位の礼を巡り

明仁、美智子◆東京都新宿区にある三越伊勢丹ホールディングスの関連会社を訪れて障害者が働く様子を視察。代替わり◆政府が閣議で、明仁の退位日を2019年4月30日と定める政令を決

【12月4日】
明仁、美智子◆東京・上野の日本学士院
会館を訪れ、第33回国際生物学賞の授賞
式に出席。

館で開催されている日本美術展覧会（日展）を鑑賞。文化庁長官や展示品の制作業者らと懇談。／高知県が、翌年度に高知市などで開かれる「全国豊かな海づくり

う求められたエピソードを披露、各国の元首らが参加し、戦後の新憲法下での儀式となるだけに、日本が変わったことを示そうとえんび服で臨んだと語り、新た

定。翌5月1日に徳仁が即位し改元されると正式に表明。政府が、天皇代替わりまでの期間について、儀式の準備や予算確保、人材養成などを理由に「最低でも

一年が必要」との首相の意見を記した皇室会議の議事概要を公表。菅義偉・官房長官が記者会見で、議事概要とは別の個々の発言内容が記された議事録をつくるないのかとの質問に「他の記録は作成して

いない」。

徳仁即位◆徳仁が新天皇に即位する

2019年5月1日は、労働者の祭典

「メーデー」に当たるため、当日は皇居周辺の混雑や警備強化も予想され、三つの大組織（労働組合の全国中央組織）のうち、これまで5月1日に式典を開いてきた全労連などは例年通りに開催する考え方だが、会場使用の制限などの要請があるかもしれない懸念も示していると報道。

【12月9日】

天皇、皇族◆雅子が54歳の誕生日を迎え、皇居・御所を訪問。半蔵門から入る。これに先立ち、東京・元赤坂にある東宮御所で、秋篠宮、紀子ら皇族から祝いの言葉を受ける。夜、明仁、美智子が、東京・元赤坂にある東宮御所を訪れ、誕生日を祝う食事会に参加。秋篠宮、紀子が加わる。

【12月12日】

明仁退位◆政府が閣議で、明仁の退位日

を2019年4月30日と決めた1日の皇室会議を巡り、議員ではないのに菅義偉・

官房長官が出席した理由について「退位

を与えることになるので、事実関係を明

らかにした」。週刊新潮編集部が、インター

ネット上の「デイリー新潮」に掲載した

記事の中で、12月14日号の内容について

「真実であると確信しています」とする見

解を示す。

【12月13日】

退位日が決定したことに触れ、「これから

特例法の施行に関する事務をつかさどる

内閣官房の事務を統括する者として、内

閣官房長官が皇室会議に出席した事例はこ

れまでなかつたとした。

【12月14日】

明仁退位◆政府が、明仁の退位日を

2019年4月30日と定める政令を公布。

官報に掲載される。退位翌日の5月

1日に徳仁が新天皇に即位し、改元とな

ると報道。

【12月15日】

美智子◆東京都新宿区の東京オペラシ

ティコンサートホールを訪れ、東日本大

震災で被災した地域の復興を支援する

チヤリティーコンサートを鑑賞。

【12月16日】

歴史認識◆訪中した韓国の文在寅・大統領が南京大虐殺などの歴史問題を積極的に取り上げていることについて、中国外

務省の陸慷・報道局長が記者会見で「(中

韓)両国人民は日本による侵略への抵抗

と民族解放闘争で団結し、互いに助け合つた」。

【12月17日】

明仁退位◆明仁の退位儀式を巡り、憲法

例記者会見で、政府が検討している明仁の退位の儀式について「陛下はできるだけ簡素になさりたいとのお考えを持つ

る必要があると主張。被災地の訪問や戦

争の慰靈など明仁が象徴天皇の在り方

を自ら模索し、それが報道によつて定着

パレードを行う意向もない」と報道。

週刊新潮12月14日号の記事に「陛下が華

やいだ雰囲気で皇居を去りたいお気持ち

を持つている」と掲載されたことを受け、

負担が今後増え過ぎる可能性がある」。

【12月18日】

退位の儀式に言及し、週刊新潮に抗議文

を送つたとした上で「国民に大きな誤解

をしていつたとして「天皇、皇后両陛下の

没者の慰靈など明仁が象徴天皇の在り方

を自ら模索し、それが報道によつて定着

パレードを行う意向もない」というと報道。

週刊新潮12月14日号の記事に「陛下が華

やいだ雰囲気で皇居を去りたいお気持ち

を持つっている」と掲載されたことを受け、

負担が今後増え過ぎる可能性がある」。

【12月19日】

明仁退位◆神戸女学院大の河西秀哉・准

教授（日本近現代史）が、大阪市内で開

いた講演◆安倍晋三首相が、東京・東新橋の

共同通信社で小渕敏郎・政治部長の出迎

えを受け、共同通信加盟社編集局長会議

に出席し講演。

【12月20日】

明仁退位◆宮内庁の山本信一郎長官が定

められた関西ブレスクラブの会合で象徴天

皇制とメディアの関係をテーマに講演し、

東京都内に開設し、展示したい考え。

【12月21日】

明仁、皇族◆雅子が54歳の誕生日を迎えて、

天皇、皇族◆雅子が54歳の誕生日を迎えて、

天皇

13 ●反天皇制運動 Alert

上の国事行為とする案が政府内で浮上していることが分かる。過去の儀式例を参考にしつつ、天皇の政治関与を禁じる憲法に抵触しない形で、退位日の2019年4月30日に皇居・宮殿で実施する方向。代替わり◆宮内庁が、明仁の退位後、明仁・美智子と皇太子一家が住まいを交換すると正式に発表。明仁・美智子が先に皇居・御所を離れ、バリアフリー化などの工事の間、東京都港区の高輪皇族邸（旧元赤坂）は、2人が上皇・上皇后となつて移り住んだ後は、先例に倣い「仙洞御所」（高松宮邸）に仮住まいし、東宮御所（東京：元赤坂）は、2人が上皇・上皇后となつて移り住んだ後は、先例に倣い「仙洞御所」と呼ぶと報道。

【12月20日】

代替わり◆政府が、明仁の退位後、秋篠宮を皇位繼承順1位の「皇嗣」であると国内外に示す儀式を皇居・宮殿で行う方向で検討していることが、政府関係者への取材で分かる。名称を「立皇嗣の礼」とする案が浮上しており、立太子の礼が、現行憲法下で行われた過去2回、事前の閣議決定を経て、国事行為として実施されたとして、立皇嗣の礼も国事行為となる見通しと報道。

明仁・徳仁◆明仁が、安倍晋三首相や閣僚、副大臣らを皇居・宮殿に招き、小食堂「連翠」で昼食会を開く。徳仁が同席。冒頭で、安倍首相が招待されたことへの礼を述べ、明仁「国民のために日夜、国務に精励されてきたことを誠にご苦勞に思います」。代替わり◆菅義偉・官房長官が記者会見で、明仁の退位を受け12月23日の天皇

誕生日が平日となることに關し「皇位継承後、新たな国民の祝日にするかは國民各層の幅広い議論が必要だ」。宮中昼食会◆安倍晋三首相が、皇居で行われた宮中昼食会に出席。

【12月22日】

美智子◆板橋区立美術館（東京都）で開催中の絵本の展覧会「世界を変える美しい本 インド・タラブックスの挑戦」を鑑賞。

皇室予算◆明仁の退位と新天皇の即位に向けた準備を本格化させるため35億円を盛り込んだと報道。このうち皇居に暮らす明仁と、赤坂御用地に住む徳仁が住まいを交換する際に必要な改修費に17億円を計上するとともに、儀式の準備で、「即位の礼」で使う高御座を京都御所から東京に移し、修理をする費用や、装束を新調する経費で16億円を盛り込む。新天皇や、代替わり後に皇位継承順1位の「皇嗣」となる秋篠宮を支える組織を強化するためとして、側近など宮内庁職員を17人増員。ほかに、眞子が翌年11月に結婚し、皇室を離れる際に支払われる一時金に充てるためとして、1億5千万円が計上される。

靖国参拝訴訟◆安倍晋三首相が2013年に靖国神社を参拝したのは、政教分離を定めた憲法に反するとして、戦没者遺族らが国と安倍首相、靖国神社に1人1万円の損害賠償などを求めた訴訟で、最高裁第2小法廷（山本庸幸・裁判長）が20日付で、原告側の上告を退ける決定をし、原告側の敗訴が確定したと報道。

日米関係◆ティラーノン米国務長官が、

23日の天皇誕生日を前に祝意を表す声明書を発表し、今後も日本と協力を続け「強固な同盟関係をさらに強化したい」。

G 20◆日本で2019年に初開催される予定の20カ国・地域(G 20)首脳会合について、政府内で大阪市が有力視されていることが分かる。19年は明仁の退位のほか、統一地方選などが実施されることを踏まえ、同年6～11月で調整するとみられるなど報道。

原発事故避難者◆新潟県が東京電力福島第1原発事故による健康や生活への影響を調べる検査委員会の分科会が新潟市で開かれ「毎月平均の世帯収入が10万5千円減少した」などとする、原発事故避難者へのアンケートの中間報告が示される。

【12月25日】

明仁、美智子◆訪日しているタイのチュラボン王女を皇居・御所に招き、共に昼食。徳仁即位◆政府が、明仁の退位後に徳仁が新天皇に即位する2019年5月1日の祝日、休日化に関し、その年1回限りの措置とする特別法を制定する検討に入った。

代替わり◆宮内庁の西村泰彦次長が定例記者会見で、代替わり後の新しい宮内庁の体制について、退位後に上皇、上皇后となる明仁、美智子を支える「上皇職」を、60人台半ばの規模で発足させたいと考えであることを明らかに。新天皇と徳仁一家を担当する新しい侍従職は、侍医や看護師などの医療体制を縮小しても問題ないとの判断し、70人台半ばの規模とするほか、「皇嗣」となる秋篠宮一家の担当は現在の東宮職と同規模の50人程度にして「皇嗣職」を新設する見込みで、宮内庁全体で

40人程度の増員が必要になる。

[12月26日]

代替わり◆政府が、明仁の退位や新天皇の即位に伴う儀式の在り方などを検討する準備組織の初会合を翌年1月上旬にも

開く

方向で調整に入り、天皇の政治関与を禁じる憲法に抵触しない形で調整を進めると、政府関係者が明らかに。

[12月29日]

代替わり◆政府が明仁の退位を巡り、明

開く方向で調整に入り、天皇の政治関与を禁じる憲法に抵触しない形で調整を進めると、政府関係者が明らかに。

仁が首相、衆参両院議長、最高裁長官の三権の長」と会い、退位を告げる儀式を退位日の2019年4月30日か、その数日前に実施する方向で検討に入ったと報道。明仁が皇位継承の証しとして、三

美空の「眞木相」

辺野古に行こう 新基地建設阻止——名護市長選勝利をめざして名護市長選勝利をめざして

名護市長選挙が二〇一八年二月四日に実行なわれる。辺野古への基地建設を許さない実行委員会では、今後の闘いを大きく左右する名護市長選挙に何ができるか、と考えた時に、地元の沖縄の皆さんを選挙に専念できるよう、首都圏からゲート前の座り込みに積極的に参加するよう呼びかけることになり、この集会を準備した。

集会では、まず初めに辺野古への基地建設を許さない実行委員会の中村利也さんなどが主催者挨拶、メインゲストとして沖縄平和運動センター事務局長の大城悟さんが、辺野古を取り巻く情勢を網羅的に報告し支援を訴えた。

大城悟さんは、「今日は第一土曜の集中行動日で、ゲート前に千人が集まつた」とダブル搬入を阻止した現場の闘いの様子を語り、石材の海上輸送に対する県

知事への搔きぶりだ」と敵の狙いを明かにし、奥港の使用を許可したとか埋め立て承認の撤回をまだしていないこと、運動内部から翁長知事への批判的な意見が出ていることに対しては「だからといって翁長知事はダメ」ということはならない。県は行政の立場で、現場は現場で島ぐるみで基地建設を止めるに変わらない」と搖るぎない確信の下に闘いを進めるなどを明言し、最後に「市長選にただ勝つだけでなく、圧勝したい」ともに安倍を打ち倒そう!と力強く決意を明らかにした。

沖縄からの訴えを受けて沖縄派遣カンパなどを呼びかけた後、地域と課題から連帯挨拶が行われた。

地域からは、沖縄と東京北部を結ぶ集会で、東京東部集会実行委員会、地域共闘交流会、辺野古に基地はいらないin三鷹、日野市の今と未来を考える会、島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会が発言。課題からは、沖縄への偏見をあおる放送を許さない市民有志、警視庁機動隊の沖縄への派遣中止を求める住民監査請求実行委員会、宮古島ミサイル配備反対運動をしている方が発言。

トップバッターは「天皇制とオリンピック」と題して反天連の天野恵さん。冒頭、和田春樹さんが「市民の意見30の会ニユース」に書かれた論文の最後の部分の「オリンピックの『平和』で『戦争』を止める」という構図への違和感から話は始まった。二〇二〇年東京五輪は、「復興五輪」として福島原発隠蔽工作を敢行する徹底した政治イベントであることを指摘した。さらにその復興五輪は改憲五輪へとつながっているのだ。続いては「人権五輪」という表看板に隠された人権侵害の拡大について様々な角度から問題提起がなされた。特に私は第三回の北村小夜さんのお話にも通じるパラリンピックと「復興」のイデオロギー的同型性を重要視した。災害多発国・日本と「がんばる障がい者」の同一化はパラリンピックについても政治的イベントとして位置づけられていく

知識への搔きぶりだ」と敵の狙いを明かにし、奥港の使用を許可したとか埋め立て承認の撤回をまだしていないこと、運動内部から翁長知事への批判的な意見が出ていることに対しては「だからといって翁長知事はダメ」ということはならない。県は行政の立場で、現場で島ぐるみで基地建設を止めるに変わらない」と搖るぎない確信の下に闘いを進めるなどを明言し、最後に「市長選にただ勝つだけでなく、圧勝したい」ともに安倍を打ち倒そう!と力強く決意を明らかにした。

ナショナルイベントとしての東京五輪

最後に主催者が具体的に辺野古へ行く日時と方法など行動提起した。参加者は一五〇人だった。

(辺野古への基地建設を許さない実行委員会)

最後に主催者が具体的に辺野古へ行く日時と方法など行動提起した。参加者は一五〇人だった。

最後に主催者が具体的に辺野古へ行く日時と方法など行動提起した。参加者は一五〇人だった。

最後に主催者が具体的に辺野古へ行く日時と方法など行動提起した。参加者は一五〇人だった。

最後に主催者が具体的に辺野古へ行く日時と方法など行動提起した。参加者は一五〇人だった。

ことになる私たちは鈍感であつて、はならないと感じた。

お二人のお話がうまくクロスする形でとても奥深い講座になつたと思う。参加者は四〇名。（宮崎俊郎／オリエンピック災害おことわりンク）

アキヒト退位とナルヒト即位を考える練馬集会

「アキヒト退位・ナルヒト即位問題を考える練馬の会」の集会が、二月二三日、千本秀樹さんを講師として開催された。

千本さんは「象徴天皇制、何が問題か」と題して問題提起。明仁天皇は、「六八年のビデオメッセージにおいて、「国民」の情動に直接に働きかけることで、自身の退位と時代の天皇の即位に向けた流れを、憲法や皇室典範の枠組みを踏み越えてつくりだした。こうした行為が可能だったのは、「象徴天皇制」として再構築された天皇の権威・権力が、あらためて価値づけされ、行使されてきたことにある。

そしてそれは、天皇の「護憲」発言や、死者の「慰靈」「追悼」をかつての戦場や大災害の被災地をめぐつて行い、その姿を報道させることによって、より強固なものとしてきた。いまやそれは「最強の象徴天皇制」とも言いうほどで、虚言と強權の政治を次々に繰り出す安倍政権よりも強い「統合力」を發揮し、政権批判の立場をとる人々の「支持」すらもとりつける。しかし、重視せねばならぬ

いのは、天皇制の「統合力」がまさに政権を補完することによってこそ拡大しているということだ。

「代替わり」の国家イベントに「国民意識が組み込まれていきながら、政治システムも軍隊・警察も、所有も、社会の中での人間の関係、差別構造も、指一本触れられることなく残され、國家権力が恣意的に行使されていく。この国家的なイベントの中で、あらためて自らの人権を確立させ、対抗していくことがほんとうに大切なことである」ということが、講演では、さまざまな方向から論じられた。なお、この日の講演の資料として配布されたのは、「現代の理論」<http://gendainiriron.jp/> 第10号（「六年一月」と第11号（「七年二月」）所収の千本さんの論文なので、内容については参照を。

参加者は三〇数名。前号の「ネットワーク」欄で池田五律さんが紹介してくれたように、今後、この会は「準備会」としてではなく、正式に発足する。ともに進んでいこう。（蝙蝠）

「生前退位!」なにやつテントー

「平和主義」や「新語法」が、実は最近の言論状況にとても当てはまるのではないか。「二重思考」を強いる装置として天皇制が重思考」や「新語法」が、実は最近の言論状況にとても当てはまるのではないか。「二重思考」を強いる装置として天皇制が機能しており、それへの批判は、天皇の「平和主義」の内在的な批判としてなされた。なお、この日の講演の資料として配布されたのは、「現代の理論」<http://gendainiriron.jp/> 第10号（「六年一月」と第11号（「七年二月」）所収の千本さんの論文なので、内容については参考を。

参加者は三〇数名。前号の「ネットワーク」欄で池田五律さんが紹介してくれたように、今後、この会は「準備会」としてではなく、正式に発足する。ともに進んでいこう。（蝙蝠）

「実質改憲」を許すな!? 天皇の、天皇による、天皇のための代替わり反対!

二月二十四日、一日遅れの「天皇誕生」論題は、反天連の「天皇誕生」が「代替わり」をめぐる、憲法・民主主義の問題についてお話ししさり、以後質疑・討論をおこなった。浜松平和芸人クラブの講師の桜井大子さん（反天連）が「代替わり」を考へる」集会が静岡市内で行われた。そこでお話をうながす。天皇・皇后の方が貧困問題には自覺的で、逆に当事者たちが曖昧な気分のまま無自覚であることの問題などが指摘された。

まず、北野さんは、オーウエルがディストピアを描いた『一九八四年』の「二重思考」や「新語法」が、実は最近の言論状況にとても当てはまるのではないか。「二重思考」を強いる装置として天皇制が機能しており、それへの批判は、天皇の「平和主義」の内在的な批判としてなされた。なお、この日の講演の資料として配布されたのは、「現代の理論」<http://gendainiriron.jp/> 第10号（「六年一月」と第11号（「七年二月」）所収の千本さんの論文なので、内容については参考を。

参加者は三〇数名。前号の「ネットワーク」欄で池田五律さんが紹介してくれたように、今後、この会は「準備会」としてではなく、正式に発足する。ともに進んでいこう。（蝙蝠）

神と人間の二つの観念を生きていることの欺瞞と偽善をこそ問題にすべき、と論じた。平井さんは、安倍の経済政策は行き詰まり、「国家破たん」が先送りされ天野さんは、天皇が「退位」しても人間になるわけではなく、特權的地位は変わらない事実から、天皇は戦後もずっと現人のあらましである。

人々はどのように天皇を認識してゆくのか。巷にあふれる天皇に関する情報は、たとえば皇室外交のワンシーン、慰靈・追悼、慰問、視察、園遊会……。これらのみは実は憲法で定められた「天皇の行為」にはないものばかりであるが、そうした批判は取り上げられず、封殺される。マスメディアがつくり出す一面的な天皇像が繰り返し流布される。

憲法に定められた行為だけでは露出度が低く権威を保てないと認識から「公

的行為」を増やしつづけ、手放してはならないと考えているのではないか。最高権威者だからこそ人々は天皇の「公的行為」を欲し、その「公的行為」によつて権威はさらに増幅してゆく。

今回の「生前退位」意向表明から「特例法」制定に至る過程は何もかもが異常で問題だったが、天皇がこの違憲の「公的行為」を「象徴的行為」として国民的理解（合憲解釈）を求め、国民もりべらルも議会も政府もマスコミも最終的に天皇の意向を忖度する形で立法化を承認し、実質改憲に加担したところに最大の問題があるといえる。

「天皇の、天皇による、天皇のための代替わり」が、社会全体で容認されてしまつたが、私たちは天皇制そのものが違憲の制度であるという視点を失わず、憲法の三原則を手放すことなく、議論と行動を続けてゆきたい。

反代替わりの取り組みは各地で始まっている。（山河進／天皇制を考える会・静岡）



12月15日（金）●原発被ばく労災損害賠償裁判第5回口頭弁論

12月16日（土）●オリエンツク災害おこしわリンク連続講座第5回・ナショナルイベントと東京五輪（集会の真相参照）

12月22日（金）●アキヒト退位・ナルヒト即位問題を考える集い

12月23日（土）●「生前退位？」なにやつテンノー12・23に天皇制の戦争・戦後

責任を考える討論集会（集会の真相参考照）

12月24日（日）●「実質改憲」をやるさない!! 天皇の、天皇による、天皇のための代替わり反対！（集会の真相参考照）

13時30分／静岡県男女共同参画センター／主催・戦後72年連続講座実行委員会（054-271-7302県共闘）（集会の真相参考照）

東北情報 INFORMATION

開催中～7月末予定●日本人「慰安婦」の沈黙

13時～18時（月・火・休日休館）／W A.M.・女たちの戦争と平和資料館（地下鉄早稲田駅ほか）／連絡先・同館（03-3202-4633）

1月14日（日）●「平成」代替わりの政 治を問う・連続講座第3回 反「昭和」X「帝一闘争の〈経験〉を通して、「平成」代替わりを考える

1月27日（土）●沖縄報道を問う

17時45分開場／文京区民センターハ A／白石草・安田浩一・泰眞実／主催・

下鉄早稲田駅ほか）／連絡先・同館

（03-3202-4633）

2月3日（土）●「田の丸・君が代」の強 制をはね返す2・3神奈川集会とデモ

13時30分／横浜開港記念会館9号室（JR関内駅ほか）／堀江有里／主催・

「日の丸・君が代」の法制化と強制に反 対する神奈川の会（090-3909-9657）

2月10日（土）●リュウセイオーロ Solo Dance 懇らの花／未来都市

18時30分開場／プラン・B（地下鉄中野富士見町橋駅）／リュウセイオーロ

（03-6424-5748）

1月15日（月）●2018年の反戦運動 を展望する東京北部討論集会

18時／豊島勤労福祉会館（JRほか

池袋駅）／池田五律・石橋新一・中川

信明・加藤誠／主催・有事立法・治 安弾圧を許すな！北部集会実行委員 会（03-3961-0212 北部労働者法律セン

ター）

1月21日（日）●高畠「監督作品上映会「教

えられなかつた戦争 中国編」

13時5分開場／東京ウイメンズプラザ・

ホール（地下鉄表参道駅ほか）／上映

ホー ル（地下鉄表参道駅ほか）／上映

後、山邊悠喜子さんのお話／主催・教

えられなかつた戦争製作上映実行委員 会（03-5974-1333）

1月24日（水）●警視庁機動隊沖縄派遣は 違法 住民訴訟第5回口頭弁論

11時30分／（10時30分よりアピール行 動）／東京地方裁判所（地下鉄霞ヶ関 駅ほか）

1月27日（土）●沖縄報道を問う

17時45分開場／文京区民センターハ A

／白石草・安田浩一・泰眞実／主催・

下鉄早稲田駅ほか）／連絡先・同館

（03-3202-4633）

2月3日（土）●「田の丸・君が代」の強 制をはね返す2・3神奈川集会とデモ

13時30分／横浜開港記念会館9号室（JR関内駅ほか）／堀江有里／主催・

「日の丸・君が代」の法制化と強制に反 対する神奈川の会（090-3909-9657）

3月31日（土）●3・11と「復興五輪」

13時15分開場／文京区民センターハ

A／小出裕章・佐藤和良／主催・

ブルズ・プラン研究所（03-6424-5748）

4月1日（日）●401即完成。いつもの事ながら今年とかなるもんだ。いろんな調子ですが

今年もよろしく。（木菟）

●401即つて嬉しい。継続は力なり！

反天皇制の運動も継続しているしきつ

●401即つて嬉しい。（桃色鰐）

●401即つて嬉しい。340即つくつ

くつたりとはなるべ。340即つ。（鷹）

●本日の作業、熊やんは途中退場。十

マケモノも顔出しちゃった。

年を問う！反「紀元節」2・11行動
(090-3438-0263)

2月22日（木）●原発被ばく労災損害賠 償裁判第6回口頭弁論

14時／（13時よりアピール行動）／東 京地方裁判所（地下鉄霞ヶ関駅ほか）

3月25日（日）●「平成」代替わりの 政治を問う・連続講座第4回 明治 150年式典・キヤハペーンと「生前 退位」

政治を問う・連続講座第4回 明治 150年式典・キヤハペーンと「生前 退位」

3月25日（日）●「平成」代替わりの 政治を問う・連続講座第4回 明治 150年式典・キヤハペーンと「生前 退位」